



連続公開講座 第37回 社会福祉のフロンティア

# 介助者手足論から考える

## 手足の意味

日時：2013年6月12日（水）18：30～20:30

場所：立教大学池袋キャンパス

マキムホール3階 M301 教室

講師：熊谷晋一郎 氏（小児科医・東京大学先端科学技術研究センター所属）

障害者運動の文脈では、「介助者は被介助者の明示的な指令に従う手足に徹するべきだ」と主張されてきた。しかしここでは「自由意志を担う障害者／延長としての介助者」という二元論が前提とされており、その矛盾は日常の介助から、障害者の過剰な自己責任論と介助者の搾取問題という領域に至るまで、あらゆるところで顕在化しつつある。当事者研究の立場から「手足とは何か」を問い直すことで、万人の生活保障と自由の両立について再考したい。

### 講師プロフィール：

小児科医。新生児仮死の後遺症で脳性まひに、以後車いす生活となる。東京大学医学部卒業後、病院勤務等を経て、現在は東京大学先端科学技術研究センター特任講師、UTCP（東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」）共同研究員。現在も週に2日、民間のクリニックに小児科医として勤務。小児科という「発達」を扱う現場で思考しつつ、さまざまな当事者と共同研究をおこなう。

問い合わせ先：立教大学 社会福祉研究所

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

Tel：03-3985-2663 Fax：03-3985-0279

e-mail：r-fukushi@rikkyo.ac.jp

URL：http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ISW/index

入場無料

予約不要